

新宿区協働推進基金助成事業のご案内

# 新宿ソダチ

本書の目的

令和4年度の助成事業

【紹介事業01】10代・20代の妊娠SOS新宿  
—キッズ&ファミリー—

【紹介事業02】日本吃音協会

広がる！新宿区のNPO活動

みんなのリビング

えんがわ家族

寄附で社会貢献

編集講座のご紹介



新宿区の未来は  
子どもたちの未来

2022-2023

**目次** 本書の目的 ..... P.2

令和4年度の助成事業

【紹介事業01】10代・20代の妊娠SOS新宿  
—キッズ&ファミリー ..... P.4

【紹介事業02】日本吃音協会 ..... P.6

広がる！新宿区のNPO活動

みんなのリビング ..... P.8

えんがわ家族 ..... P.9

寄附で社会貢献 ..... P.12

編集講座のご紹介 ..... P.15

**団体からのコメント**

当NPOの活動は、寄附に支えられていますが、私たちの活動主旨が「望まない妊娠に悩む10代20代女性の支援」だと聞くと、「それは自己責任だ」と、寄附を拒む方々も多いです。しかしそうならざるを得なかった家庭環境や社会環境を理解してほしい。その想いが伝わり助成事業に採択されました。助成金で一人でも多くの若者を救いたいです。また、区の助成を受けた実績が信頼につながり、今後の支援者拡大につながることを願っています。

若い女性たちを救いたい。その想いが伝わった



**【団体名】** 認定NPO法人 10代・20代の妊娠SOS新宿—キッズ&ファミリー

**【活動概要】** 虐待などで家を逃れ、歌舞伎町にたむろする思春期から20代前後の女性たちを対象に、毎週金曜日と土曜日、午後8時から午前0時まで歌舞伎町のパトロールを行います。また、女性たちが立ち寄れる相談所も開設。その後も、生活の立て直し、昼間の仕事への就労支援、住居の確保と寄り添いながら支えていきます。

▼▼ P.4

紹介事業 01

歌舞伎町夜間パトロールと相談所事業

**団体からのコメント**

助成金を得られたことにより、著名な講師をお招きして大規模なイベントを開催することができました。活動によって、身近にいる吃音者の存在や、吃音者が抱える悩みを広く知っていただき、理解・配慮をしてもらいたい。また、当事者による相談事業によって、吃音者が将来に希望を持ち、前向きに人生を切り拓くきっかけになれば嬉しいです。我々の活動が『新宿ソダチ』に掲載され、多くの人の目に触れることも大変ありがたいです。

吃音者への理解と配慮が広がるきっかけにしたい



**【団体名】** NPO法人 日本吃音協会

**【活動概要】** 吃音をもつすべての仲間が、自分らしく幸せに生きられる社会を作るという理念のもと活動をスタート。交流会、悩み相談、就職支援などを行う団体です。本助成事業では、吃音当事者とその保護者などの吃音関係者を対象に、①講演会 ②吃音なんでも相談会 ③座談交流会 の3部構成で、イベント(全3回)を実施します。

▼▼ P.6

紹介事業 02

吃音に理解のある地域共生社会

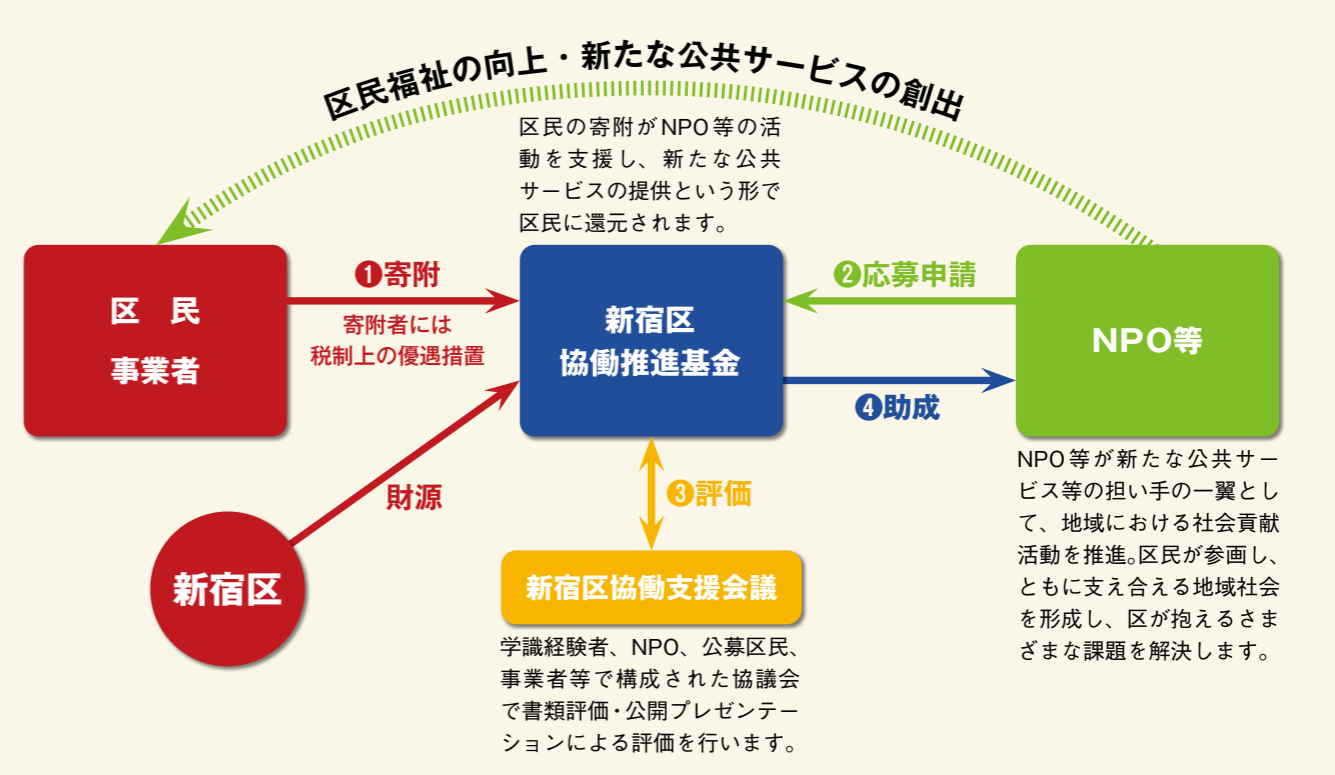
令和4年度の助成事業

本書の目的

この冊子は、新宿区が行っている「新宿区協働推進基金助成金制度」について広く知っていただくために、助成対象になったNPO法人等の事業を紹介しています。

新宿区協働推進基金助成金制度とは？

社会貢献活動を応援したい人(区民・事業者等)と、応援が必要な人との架け橋となる制度です。



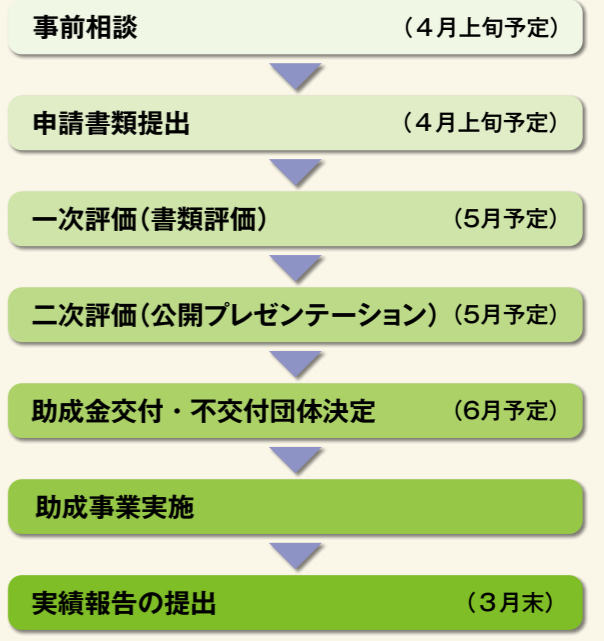
新宿区では、地域課題を解決し区民の生活をよりよくするために、社会貢献活動への協働推進基金を活用した助成を通じて、NPO等(特定非営利活動法人・ボランティア活動団体等)の団体が、安定した事業活動を行うための支援を行っています。

区民や事業者など、多くの方から募った寄附金と新宿区の財源を「協働推進基金」に積み立て、NPO等社会貢献活動を行う団体に対して助成金を交付します。助成金上限額は1団体50万円です。団体は助成金を活用して、地域課題の解決や、区民生活の充実に資する事業を行います。

助成対象は？

- 区民の福祉の向上を目的とした社会貢献活動(営利を目的とせず、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的として、自発的に行われる活動)のうち、次のいずれにも該当する事業です。
- ①新宿区の地域課題や社会的課題の解決を目的とした事業
  - ②特定非営利活動法人又はボランティア活動団体等の特性を活かして実施する事業
  - ③区民の社会貢献活動の啓発に寄与する事業

新宿区協働推進基金助成金制度の流れ



## パトロールを見学しました！

11月のある日。若年女性たちは見られていることがわかると警戒して、関わりを拒むので、距離をとって見学。パトロールは声かけがしやすい少人数で行っています。連絡先のカードを手渡しだけのときもあれば、路上に座り込んでいる女性たちの目の高さに合わせてしゃがみこみ10分以上話をするときも。相手の気持ちを尊重する姿勢が印象に残りました。毎週、同じ時間に連絡先のカードを手渡しながらか歩く。その姿が新たな相談につながっていると感じました。



上)相談所の様子 飲み物、お菓子などで心をほぐす。トイレの貸出、携帯の充電も。利用者からは「話しやすかった」「生活について相談したい」「このままずっと続けてほしい」との声。  
下)連携している夜の薬局。店内に団体の案内チラシを掲示。



グッズ(使い捨てカイロやハンドクリームなど)を添えて連絡先のカードを渡します。「お守りがわりに持っています」。

ネットカフェ、漫画喫茶では相談案内の掲示を断られます。若年女性の集まる場所での掲示が効果的です。ご協力をお願いします！

相談にきたときには、精神を病んでいる子もいます。そこまで追い詰められる前に助けを求めてほしい。彼女たちには信頼できる大人との出会いが必要です。



右)佐藤理事長 性教育、子育て支援、家庭内の虐待の現状などについて講演を数多く行っている。  
左)相談、事務局(チラシデザインも)担当の石川さん。

秘密厳守、費用無料と書かれた、相談連絡先のチラシ。困難を抱えた女性を温かく包み込むようなオレンジの色調。



# 歌舞伎町に集まる若年女性を犯罪から守り生活の立て直しを支援

【紹介事業】01

令和4年度の助成事業 | 歌舞伎町夜間パトロールと相談所事業  
団体名 | 認定NPO法人 10代・20代の妊娠SOS新宿—キッズ&ファミリー  
助成額 | 500,000円

家庭内の虐待などから歌舞伎町にたむろする若年女性たち。24時間年中無休で彼女たちの妊娠、性被害の相談を受けつけている「10代・20代の妊娠SOS新宿—キッズ&ファミリー」は、助成事業でパトロールを行いながら夜間相談所を開設しています。

## 行政の手の届かない若年女性を支援する

虐待などで家から逃れ、居場所をなくし歌舞伎町にたむろする思春期から20代前後の女性たち。しかし「18歳以上は児童福祉法の対象外になる、夜間は相談を受けつけられないなど、行政では支援の手が届かないことも多い」と理事長の佐藤初美さん。新宿区(保育士、相談員を約40年)を退職した佐藤さんは2016年、彼女たちを支援するために「10代・20代の妊娠SOS新宿—キッズ&ファミリー」を設立しました。

主な活動は3つ。1つ目の大きな柱は相談支援です。女性たちは誰にも言いたくない、知られたくない辛い思いを抱え、悩んだすえに電話をかけてきます。2時間泣き続けた女性もいました。

そんな女性たちに最初にかかる言葉は「あなたは悪くない」と佐藤さん。彼女たちの多くは、家庭内の性的も含む虐待、世代

え、「よかったら来て」と声をかけます。まずは顔の見える関係づくりから。相談所では、来所者の悩みや生活状況に耳を傾け、利用できる制度や情報を伝えます。必要に応じて病院受診や行政の窓口にも同行します。

②その後も本人のニーズに合わせて生活の立て直し、雇用の仕事への就労支援、住居確保と寄り添いながら支えていきます。「彼女たちは、それまで周りに信頼できる大人がいたことがないため、『助けて』と声をあげることができません」と佐藤さん。自己否定し「死にたい」と繰り返す女性もいました。

本事業により困難を抱えた若年女性が相談に訪れ、継続した支援を受けて生活を立て直すことが期待されます。本事業の始まった7月から9月でパトロールは計23回、相談所の開設は22回。相談所には延べ47人が訪れています。パトロールでの声かけをきっかけに後日来所した女性、口コミ、SNSで知って来所した女性。相談所の存在が広まってきています。

相談から行政などにつなげたケースは10件、病院の受診同行が5件ありました。連休の夜に

間連鎖するDV、貧困、正しい性知識もないままの妊娠、性被害などの困難を抱えています。話をとことん聞いて信頼関係を築き、情報や知識を与え助言しますが、今後どうするかは本人。その意思を尊重して支援します。

2つ目の活動はシェルター「雨宿り」の運営。虐待、DV被害を受けている、妊娠によって困窮し住まいを失った、そんな女性たちが「安心安全に過ごせる」滞在場所です。

3つ目は子育て支援。若年出産して社会から孤立している親子の育児相談と育児支援を行っています。

パトロールと相談所の開設 助成事業により、①毎週金曜日と土曜日、午後8時から午前0時まで歌舞伎町に女性たちが立ち寄れる相談所を開設します。パトロールでは10代から20代の女性に、相談連絡先を記したカードを手渡します。相手の様子に応じて相談所の場所を教

発熱した女性が来所し、受診先を午前3時まで探したことも。

## コロナ禍、家庭環境は悪化

コロナ禍前は相談者の3割が普通の家庭の子でもでしたが、コロナ禍後は9割が母親の交際相手などによる性被害や親からの虐待を受けている子どもです。彼女たちにとっては家庭すら安全な場所ではありません。そのため、保護、継続支援が必要な事例が増えています。佐藤さんは、今後も困難を抱えた若年女性に「あなたは悪くない」と寄り添って支援していきます。

取材を終えて 歌舞伎町で過ごす若年女性たちの家庭環境を聞いて心が痛みました。彼女たちの間に「妊娠SOS」の相談連絡先が広まってほしいです。(H)

認定NPO法人 10代・20代の妊娠SOS新宿—キッズ&ファミリー

「望まない妊娠や予期しない妊娠」をした若年世代の妊産婦等を対象に、相談・同行などの様々な支援及び交流、セミナー等を行い、子どもの命と家族を守ることを目指すNPO法人

〒169-0051 新宿区西早稲田3-8-11  
TEL 03(5155)2907  
info@10dai20dai-ninshin.com  
https://www.10dai20dai-ninshin.com/

※2022年10月に、認定NPO法人となりました。

左)理事長の藤本さん。「吃音があるという事実は変えられない。でも、得意なことに打ち込んで自分に自信がもてるようになると、吃音なんてないかと思えてくるんです」。

右)精神的なストレスにより吃音症を発症したという協会アンバサダーの桐貴清羽さん。イベントでの相談員も務めました。「受け入れられるという体験をするのが一番大事だと思います」。



不安や悩みに寄り添う相談会。家族での参加も。

## ■ 今年度の活動

### ◆ イベント(全3回の実施)

- 内容 ①吃音専門家による講演会  
②吃音なんでも相談会  
③座談交流会

- 日程 第1回 12月3日実施(四谷)  
第2回 1月21日(オンライン)  
第3回 2月18日(オンライン)



最後は、憧れの菊池先生を囲んで記念撮影。お疲れさまでした!

## 吃音がある人にどんな配慮が必要?

### 学校で

- 話し方をまねしたりからかったりさせない。
- 本人の希望があれば吃音のことを学校で共有する。
- 学芸会などでは、言いやすいセリフに変えたり複数人で声を合わせるようにする。

### 職場で

- 電話業務や朝礼は、本人の希望があれば免除したり代替手段を検討する など。

※ 2016年施行の障害者差別解消法では、国や自治体による、障害がある人への合理的配慮が義務として明記されています。2024年までには民間企業も努力義務から義務になることが定められています。

# 吃音があっても自信を持って生きられる そんな社会をつくりたい



吃音ドクター・菊池先生の話に熱心に聴く参加者たち。

【紹介事業】

02

令和4年度の助成事業 | 吃音に理解のある地域共生社会

団体名 | NPO法人 日本吃音協会 (Stuttering Change The World)

助成額 | 455,000円

100人に一人の割合で発症するという吃音。吃音当事者が生きづらさを抱えていても、まわりからは理解されにくいのが現状です。「NPO法人日本吃音協会」は、すべての吃音をもつ仲間が自分らしく幸せに暮らせる社会の実現を目指しています。

**吃音の苦しさは昔のまま  
子どもたちを救いたい**

「おおおおおはよう」。  
「おはよう」と言いたいのになめらかに言葉が出てこないといった、いわゆる「どもる」状態を吃音(きつおん)といいます。吃音をもつ人は、日本には約120万人、世界では約7000万人いると言われています。原因は未だに解明されておらず、そのため確固たる治療法もありません。

「ご自身も吃音でつらい子ども時代を過ごしてきた藤本浩士さんは、吃音で困っている人の役に立ちたいと、日本吃音協会(以下、SCW)を立ち上げました。「うまく話せないことへのイジメや、からかい。僕の子どもの時代と同じ悩みを、今の子どもたちももっています。吃音者を取り巻く環境がまったく進歩していないんです」と、藤本さんは顔を曇らせます。

吃音をもつすべての仲間が、自分らしく幸せに生きられる社会をつくりたいという思いが、この事業の原点です。吃音のある人がどのように社会参加し、何を意識して生活していけばいいのか、そして地域コミュニティはどのようなまちづくりを心がけていかなければならないのかといった内容に、満席の参加者は熱心に耳を傾けていました。

相談会や交流会では、菊池先生を初めとした経験豊かな吃音の先輩たちが、吃音者の悩みに寄り添い、盛況のうちにイベントが終了しました。

「今まで、やりたくてもできなかったイベントを、助成金を受けることで実施できました」と、藤本さんは言います。

「参加してくれた人たちにとって、人生が変わる転機になったから、こんなにすばらしいことはありません」。

**吃音を知って、  
そして理解してほしい**

吃音をからかわれ、自信をなくしていく。そんな子どもたちがたくさんいます。

「けれど、何かで自分に自信をもつことで、人生は変わる。」

会を作るといふ理念のもと一人で始めた活動ですが、SCW設立1年経った今では会員数は約300名に。その活動は多岐にわたります。

オンラインコミュニティでは、週に1度の交流会や各種相談、孤立しがちな保護者向けの情報提供などが。また、吃音であることがネックになりやすい就職活動でも、さまざまな職業に就いている吃音当事者がメンターとしてサポートやアドバイスを。その他、吃音があることで授業中に質問をしづらい小中学生向けに、学習支援の場も設けています。

**吃音の仲間と一緒に  
人生転機のきっかけを探す**

助成事業では、吃音当事者とその保護者などの吃音関係者を対象に、イベント(全3回)を実施していきます。プログラムは、①講演会 ②吃音なんでも相談会 ③座談交流会の3部構成。12月3日に実施された、第1回目のイベントでは、「吃音下

とができるんです」。

藤本さんご自身も、いくつかのきっかけを経て自分に自信をもつことができ、22歳のとき起業を果たしたといいます。

吃音があっても前向きに生きている先輩の体験談を聞いたリ、気軽に悩みを相談したりすることで、将来の不安を軽減してほしい。そのための場を、SCWは提供したいと考えています。吃音のことを知って、興味をもち、理解してもらおうとどこまでいかなないと当事者にとって良い環境になったとは言えない、と藤本さん。

新宿区が吃音に理解のあるまちになっていたら。そう願うSCWの挑戦は始まったばかりです。

(2022年11月取材)

取材を  
終えて

「吃音者も本当は人と話したい」という言葉が印象的でした。まずは関心を持ち、正しく理解することの大切さを感じました。

(C) K

**NPO法人 日本吃音協会**

吃音当事者の声を聴き、想いをカタチにしていくことを目指し、普及啓発活動や吃音者への支援等を行い、豊かなコミュニケーションのある社会の発展に寄与することを目指すNPO法人

〒162-0065 新宿区住吉町1-18  
TVB曙橋ビル5F

TEL 03(5801)0947  
info@npo-scw.org



生まれ育った戸山地域のコミュニティの希薄化に課題感を持っていた代表の渡辺萌絵さん。単身高齢者の孤独、子どもの居場所などの問題を、地域の相互協力で解決したいと、任意団体「えんがわ家族」を立ち上げました。「えんがわ」には、皆がいつでも集える温かい場所という想いを込めたそうです。

ア、親子たちによる野菜づくり。家族食堂は、子どもがシニアのサポートを得ながら食事を作り、皆で食べる食事会。目的は、食を通じて多世代交流を実現すること。一回に70名が集まることもありましたが、「単発イベントでは本当のコミュニティづくりにはならない」と感じた渡辺さん。皆がいつでも集まれて、継続的に交流できる場が欲しいと強く感じたそうです。

ら人へ伝わり、現在は『そら』とだいちの図書館』という活動に発展。これは、新宿区立中央図書館と協働で旧中学校の校庭を活用し、収穫体験、おはなし会など、多世代が気軽に交流できる場に作り上げていく活動。地域の人と共に畑を整備し、学生、若者も巻き込んで野外イベントを行っています。今では、初めて会った多世代が家族のように交流する光景も見られるように。渡辺さんが夢見た、地域の人々がゆるくつながる場が実現しようとしています。

## ゆるくつながり続ける地域を目指して

令和元年度の助成団体 「えんがわ家族」

### えんがわ家族

地域の多様な人々がゆるやかにつながり、お互いが共に支え合える温かいまちづくりを目指し、多世代交流や子育て支援、高齢者支援を軸に、食の交流会など様々なイベントを展開し地域のコミュニティ再生に取り組む団体

〒169-0072 新宿区大久保3-1-1  
☎ 080(1296)6833 [engawakazoku@gmail.com](mailto:engawakazoku@gmail.com)  
<https://soratodaichilibrar.wixsite.com/website>

※住所・URLは、えんがわ家族でなくそらとだいちの図書館のもの

助成事業に採択されたことがきっかけで、ネットワークが広がり、『そらとだいちの図書館』という活動につながりました！この場所を、誰もが「ここが自分の居場所」と思える場にしていきたいです。



代表：渡辺萌絵さん

## 助成団体に聞く！「助成事業に採択されて良かったことは何ですか？」

### 令和元年度助成団体 えんがわ家族

#### 助成金で覚悟が決まり、次の目標にもつながった

本助成金への応募から実践を通して、①応募書類の準備により、これまでの活動を整理することができました。②評価を経て事業が採択され、これまでは「できればいいな」と思っていたアイデアが「やるしかない！」と、覚悟が決まりました。③報告書作成によって、振り返り・課題発見ができ、次の目標も明確になりました。そして何より、区の助成を受けた実績が、社会的信頼になり、次のステップにつながったことが一番の収穫でした。



### 令和元年度助成団体 みんなのリビング

#### 公開プレゼンは貴重な学びの機会になった

私たちの活動は、助成金やボランティアの方々との協力で成り立っています。助成事業に採択されたことで、地域の方々の居場所づくりや、食事が開催でき、「支え合いのコミュニティづくり」という夢に近づくことができました。応募から評価、採択の一連のプロセスでは、書類評価だけでなく公開プレゼンもあり、自分の想いを聞いていただけ、評価委員の皆さんから客観的な指摘をいただけるなど、大変貴重な勉強の機会となりました。



# 広がる！新宿区のNPO活動

これまでに、新宿区協働推進基金助成事業に採択されたNPO助成事業は100件以上。コロナ禍で縮小を余儀なくされた活動もありますが、今も元気に活動している団体を紹介します！



## 食事の提供と居場所づくり 気楽につながれる助け合いの輪

令和元年度の助成団体 「みんなのリビング」

「みんなのリビング」は2016年に、代表者の佐藤雅明さんが生家の1階リビングを、地域の人たちがゆるやかにつながれるコミュニティスペースとして開放したことからはじまりました。2019年に新宿区協働推進基金助成事業に採択され、「コミュニティカフェや、地域活動実践者に向けての勉強会を実施しました。コロナ禍を経て3年ぶりに「みんなのリビング」を訪れ、佐藤さんにその後の活動についてうかがいました。

「カフェ活動はできなくなったが、コロナは今後の活動を見直すよい機会になった」と佐藤さん。活動は「おすそわけご飯」。経済的に厳しい状況の方でも参加できるように、任意の寄附制で夕食を食べられるようにしています。支援する側・される側という境目がいまいになるように、みんなで作ったごはんを「おすそわけ」という考え方で、多世代・多様な人たちと一緒に「ご飯を作っています。土曜日のお弁当は60食。平日は15食まで、会場でいっしょに食べます。最近では、米や果物、レトルト食品などの

### みんなのリビング

いろいろな立場・属性の人がそれぞれ違う「生きづらさ」を抱える現代社会で、子育てや介護・地域のつながりから日常のちょっとした困りごとまで、どんな人でも孤立せずに居場所が持てるコミュニティづくりに取り組む団体

〒161-0031 新宿区西落合2-8-26 コトナ葛が谷  
☎ 050(3632)3570 [living.kuzugaya@gmail.com](mailto:living.kuzugaya@gmail.com)  
<https://ja-jp.facebook.com/minnanolivingkuzugaya/>

無料配布も開始。食材は区内の企業や社会福祉協議会などの団体からの寄附も集まっているそうです。そのほか工作や園芸、季節の遊びなどを企画したり、千葉の提携農園での農業体験など、交流は広がっています。

日々の交流活動の中で、参加者のつづやきから困りごとを発見し、医療や福祉系など専門性のあるボランティアメンバーにつなぎ、支援することも。

「半径20メートルの近所さんでさえ、知り合う機会が少ない現代、何か困りごとがあっても助け合うことが難しい。地域の人たちがゆるやかにつながることで、互いに助け合える、そんな社会が理想です」と佐藤さん。活動は今後も広がっていきそうです。



# 〇×クイズ

NPOって何？  
あなたは  
いくつ正解？

Q1 NPOは、Non Power Organization  
＝権威なき組織の略である。

【解説】NPOは、Non Profit Organization＝非営利団体の略。内閣府では「様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配すること  
を目的としない団体の総称」と定義しています。NPOのうち、特定非営  
利活動促進法に基づき所轄庁(新宿区は東京都)で認証され法人格を取得す  
ればNPO法人、さらに一定の基準を満たして所轄庁の認定を受けた法人  
は認定NPO法人となります。認定NPO法人はNPO法人の約2.5%。

Q2 全国にNPO法人は、  
コンビニエンスストアと同じくらいある。

【解説】全国には約5.2万のNPO法人があり、  
コンビニエンスストア(約5.5万)と同じくらいで  
す。新宿区のNPO法人は685団体あり、都内  
で港区につづく第2位です！(令和4年11月現在)

Q3 K-POPPを通じて他国の文化への理解を深め、多文化交流を  
はかることを目的にNPO法人を立ちあげることができる。

【解説】特定非営利活動とは、20分野(※)のいずれか又は複数にあてはまる活動によって社  
会貢献することです。提出書類の審査によりますが、この活動が個人の趣味の範囲にとど  
まらず、④観光 ⑥芸術 ⑩国際協力等の分野で広く社会一般の利益(公益)に寄与する活動  
と認められれば、認証されると考えられます。なお特定の個人又は法人その他の利益(私益)  
や法人の会員相互の利益(共益)を目的とした活動は特定非営利活動ではありません。

(※)①保健・医療・福祉 ②社会教育 ③まちづくり ④観光の振興 ⑤農村漁村・中山間地域の  
振興 ⑥学術・文化・芸術・スポーツ ⑦環境保全 ⑧災害救援 ⑨地域安全 ⑩人権擁護、平和  
⑪国際協力 ⑫男女共同参画 ⑬子ども健全育成 ⑭情報化社会の発展 ⑮科学技術 ⑯経済活  
性化 ⑰職能開発・雇用拡充 ⑱消費者保護 ⑲NPO支援 ⑳条例で定める活動)

NPO法人化するメリット  
団体名で契約ができるなど  
社会的信用が高まる

Q4 地域のボランティア5人で約3年間、子ども食堂を  
開催してきた実績があるので、NPO法人になれる。

【解説】設立には趣旨に賛同してくれる人議決権を持つ(正会員)が10  
名以上、理事3名以上、監事1名以上が必要です。(理事、監事は  
正会員からでも外部からでも構いません。)  
★新宿区協働推進基金助成事業は、NPO法人だけでなく一定の要  
件に該当するボランティア活動団体等も助成対象です。地域の課題  
を解決するための助成金は、任意団体等も対象のことが多いです。

Q5 NPO法人は一般社団法人と同じように貸借対照表のみを  
公告(官報などで外部に周知)すればよい。

【解説】NPO法人は、貸借対照表の公告だけではなく、毎事業  
年度初めの3カ月以内に、前事業年度の会計報告書(活動計算  
書・貸借対照表・財産目録等)を所轄庁(新宿区は東京都)に提  
出しなくてはなりません。さらに一般公開されます。

Q6 NPO法人の経常収益の内訳は、行政や企業からの  
補助金・助成金が大部分を占めている。

【解説】NPO法人の収入源は「事業収益」が83.1%と大部分を占め  
ています。一方、認定法人等では「事業収益」が37.9%と最大では  
あるものの、「寄附金」32.2%「補助金・助成金」26.1%も一定  
の割合を占めています。(令和2年度内閣府調べ)  
★認定NPO法人等は、寄附する側も税制上の優遇措置を受ける  
ことができるため、寄附金が集まりやすくなります。

法人になると  
事務作業は増える



NPO法人は  
登記費用が  
かかりません

原則として2カ月半以内に  
認証・不認証が決定

Q3とQ4も  
参照してね!

【おねのの流れ】  
NPO法人を  
設立するには



活動内容・分野、  
メンバーを決める  
必要な書類の準備  
(設立認証申請書、定款、設  
立趣旨書、事業計画書、活動  
予算書、役員名簿など11種の  
書類)

所轄庁に申請  
団体の主たる事務所のある都  
道府県または政令指定都市  
(新宿区は東京都)

審査  
提出書類の一部は  
一般に公開されます。

認証後、  
設立の登記  
法人設立の認証後、2週間以内に  
法務局で登記を行います。

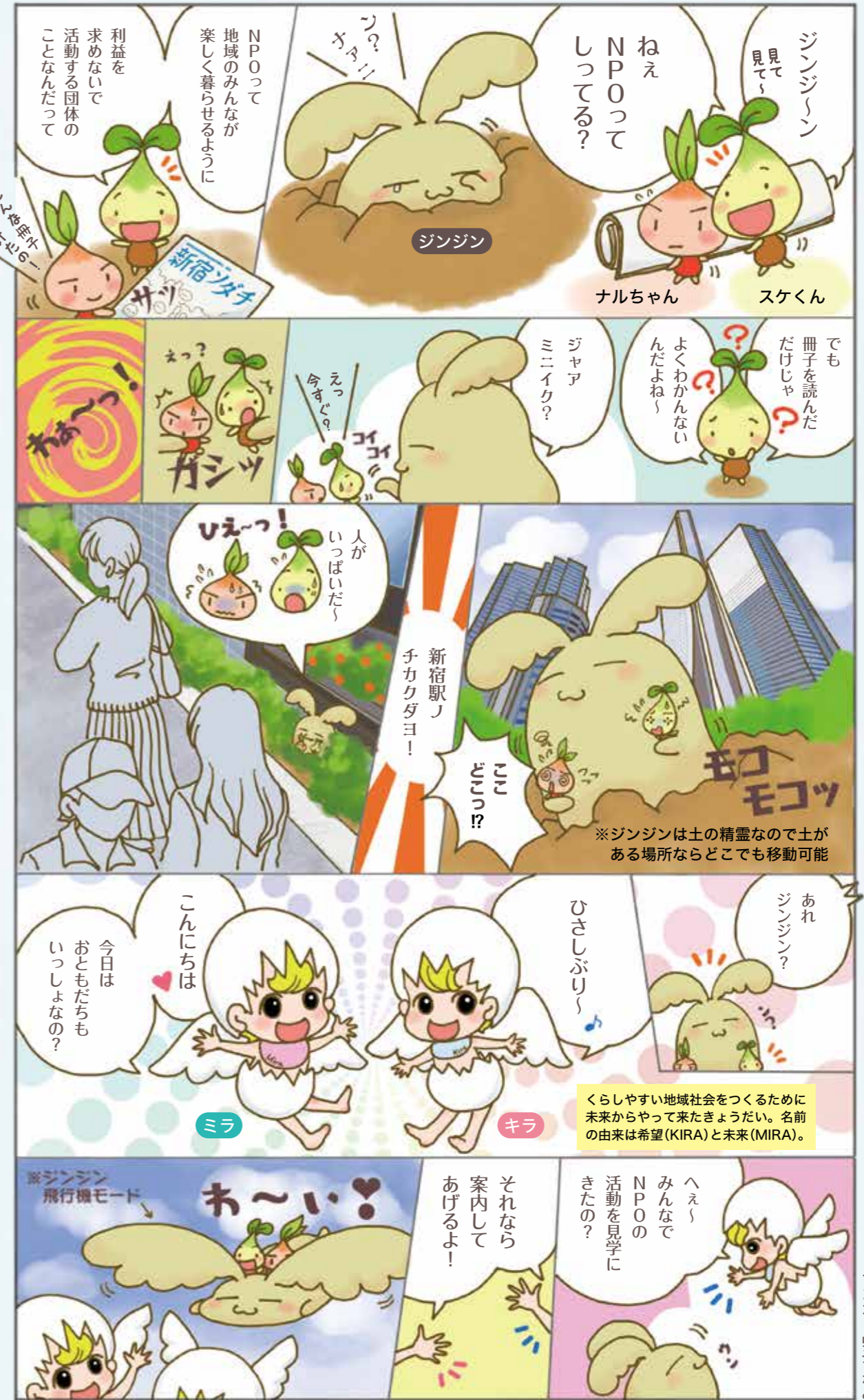
完了届出書を  
所轄庁に提出



新宿区では新宿NPO協働推進センターで  
NPOに関する相談を受けつけています。  
新宿区立新宿NPO協働推進センター  
〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12  
TEL 03-5386-1315 FAX 03-5386-1318  
MAIL hiroba@s-nponet.net URL https://snponet.net

「社会貢献をしたいけど何をしたらいいかわからない」「誰かのために活動したいけど時間が無い...」。そんな方は、新宿区協働推進基金に寄附をしてNPOを応援しませんか？

マンガ：品玉ちなみ



**新宿区地域コミュニティ課**  
 住所 〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区地域コミュニティ課管理係  
 窓口 新宿区役所本庁舎1階15番 電話 03(5273)3872 FAX 03(3209)7455



**【郵送の場合】**  
 「協働推進基金寄附申出書」※に必要事項を記入して郵送してください。区から寄附金の納付書が返送されますので、銀行や郵便局など金融機関から振り込んでください。納付書についている領収書をお受け取りください。

**【直接持参いただく場合】**  
 「協働推進基金寄附申出書」※に寄附金を添えて、新宿区にお持ちください。窓口は「地域コミュニティ課」または「各特別出張所」です。

※「協働推進基金寄附申出書」の入手方法

- 本冊子のP 14 下段の寄附申出書をご利用ください。
- 「地域コミュニティ課」や「各特別出張所」の窓口にもあります。
- 地域コミュニティ課にお電話くだされば郵送します。
- 新宿区のホームページからも入手できます。  
 (https://www.city.shinjuku.lg.jp/)

## この冊子を作ったのは？

新宿区地域振興部 地域コミュニティ課 管理係主催【助成事業紹介冊子編集講座】を受講した編集メンバーが作成しました。NPO活動についてほとんど知らなかった人、日々NPO活動の恩恵を感じている人、子育て中、介護中、仕事の合間などに、さまざまな立場、老若男女が新宿区民目線で、わかりやすく楽しい誌面作りを目指しました。

## 助成事業紹介冊子編集講座 令和4年度開催概要

【助成事業紹介冊子編集講座】は、平成22年度より毎年募集を行い実施しています。令和4年度は、以下のような内容で開催されました。

### 基礎編【プロから学べる！文章の書き方講座】(全3回)

人に思いが伝わる文章の書き方やわかりやすい文章の書き方のコツを学びます。

### 実践編【助成事業紹介冊子編集講座】(全7回)

基礎編を終了後、実践編ではプロと一緒に冊子の編集体験をします。実際の取材、編集を通じて、区内の社会貢献活動について学ぶことができる講座です。

※令和5年度の開催については詳細が決まり次第区のホームページで公開予定です。

※講座の内容は予告なく変更となる場合がございます。

**参加者の声**

◆普段何気なく読んでいる雑誌の誌面が、どのように作られるのかがわかりました。

◆仕事のメールでも役立つ文章の書き方が学べて勉強になりました！

来年ノ誌面ヲ  
作ルノハアナタ!

コロナ禍で取材以外はみなオンラインという制作には戸惑うこともありましたが、それ以上に楽しかったです。貴重な経験に感謝！

(CK)

人生最大のチャレンジ真つ最中の時期と重なり多忙でしたが、先生や皆さんに出逢えて感謝。熱量や優しさは、いつでも人を動かし、希望になると実感。

(ともちゃん)

クイズ作成のため、東京ボランティア・市民センターへ。ご説明を聞いてNPOは、市民の市民による市民のための組織だと感じました。

(H)

文章の書き方、取材編集、出会い。石井先生、講座の皆様ありがとうございました。一人でも多くの新宿区民の皆様へ情熱が届きますように。

(YM)

昨年度に続き2回目の受講。今回はコロナ禍でも訪

**編集後記**

取材が可能に。やはり直に会って得た様々な情報がより良い原稿に近づく実感しました。

(HA)

ここ数年連続して講座に参加。毎年個性が違う受講生の方々と、継続的に新宿区を取材・考えることができ、貴重な体験。今号の表紙は特に気に入りました！

(カズ)

取材に同行し、妊娠SOSで聞いた「自己責任ではなく、心から離れませんか。自分の常識を疑って初めて見えるもの、ありますね。」

(Y)

興味があるものには恐れず首を突っ込もうとしているときに出会った「新宿ソダチ」編集、新しい出会いに感謝です。(ふじたいい)

助成金キャラたち、また描かせていただけて嬉しかったです。ありがとうございます！

(品玉ちなみ)

発行 / 2023年3月  
 編集人 / 石井栄子(いしぶろ)  
 助成事業紹介冊子編集講座受講生 / 有馬弘純、いしかわともこ、河田規子、品玉ちなみ、鈴木寿子、伊達和成、藤井陽子、藤田禮子、松瀬ユキ  
 デザイン・DTP / 大野佳恵  
 表紙撮影 / 福島勝 イラスト / 品玉ちなみ

「新宿区協働推進基金助成金制度」  
 およびこの冊子について、ご意見、ご感想など  
 がありましたらお気軽にご連絡ください。

この冊子に関するお問合せ先  
**新宿区地域振興部地域コミュニティ課管理係**  
 TEL 03(5273)3872 FAX 03(3209)7455  
 URL <https://www.city.shinjuku.lg.jp/>

印刷制作番号 2022-11-2601

この印刷物は、業者委託により3,000部印刷製本しています。その経費として、1部あたり50円(税別)がかかっています。ただし編集時の人件費などは含んでいません。

## 寄附をしていただいた皆様のご紹介

新宿区協働推進基金は、区民が享受するサービスを区民自らの寄附金で実現するかたちとして、平成16年に設置されました。令和3年度は、寄附金1,058,000円を積立て、令和3年度末残高は16,937,309円となっています。

### 令和4年度(12月末現在 1,317,553円)

寄附申出日	寄附者種別	寄附の金額	寄附者の名称(敬称略)
R4 12月 7日	個人	200,000円	匿名
R4 10月11日	個人	89,553円	荻野 善昭
R4 9月20日	個人	300,000円	竹村 美恵子
R4 9月20日	個人	100,000円	山口 千絵子
R4 9月12日	個人	50,000円	塩崎 修平
R4 6月17日	団体	100,000円	インフォテクノスコンサルティング株式会社
R4 6月 1日	個人	100,000円	匿名
R4 5月24日	団体	48,000円	東京税理士会新宿支部 支部長 石井 大地
R4 4月22日	個人	30,000円	福島 久男
R4 4月15日	個人	300,000円	匿名

### 令和3年度(1,058,000円)

寄附申出日	寄附者種別	寄附の金額	寄附者の名称(敬称略)
R4 2月27日	個人	15,000円	匿名
R3 12月21日	個人	1,000,000円	匿名
R3 12月18日	個人	13,000円	匿名
R3 5月 6日	個人	30,000円	福島 久男

協働推進基金助成金制度は、区の財源と、みなさんからの寄附金からなる新宿区協働推進基金を原資としています。社会貢献活動の活性化のため、ぜひ寄附のご協力をお願いします。

# 寄附のご協力を お願いたします



ご協力ありがとうございました。

## 協働推進基金寄附申出書

新宿区長あて \_\_\_\_\_ 年 月 日

私(当法人)は、協働推進基金の目的に賛同し、新宿区に対し下記のとおり寄附します。

記

- 氏名(法人名・代表者氏名) \_\_\_\_\_
- 住所 \_\_\_\_\_ 連絡先 ☎ \_\_\_\_\_
- 寄附金額 金 \_\_\_\_\_ 円
- 希望する活動分野(活用先を希望される場合のみご記入ください。活動の分野をご希望の方は、以下の活動分野に○を付けてください(複数記載可)。

保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	国際協力	職業能力開発・雇用機会拡充
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	子どもの健全育成	市民活動支援

お預かりした寄附金は、新宿区協働支援会議の協議を経て、新宿区が助成先及び金額を決定します。ご希望いただいた活用先につきましては、最大限尊重させていただきますが、必ずしも希望先に助成できるものではありません。また、ご希望にそえなかった場合も、寄附金を返還することはできませんので、ご了承ください。

ご寄附いただいたことについて、お名前と金額を広報紙等に掲載させていただくことがあります。掲載することに同意くださる場合は、ご署名してください。

氏名(法人名・代表者氏名) \_\_\_\_\_



# おすすめ! キラミラネット



<http://shinjuku.genki365.net/>

## 新宿区民の皆さん! NPO団体の皆さん!

今日からキラミラネットを活用してみませんか? 便利なサービスをご紹介します。

### 団体の方へ

#### 登録団体一覧

いろんな分野の団体とつながることができます。

#### 新着情報

団体の活動やイベント情報を紹介することができ、ネットを通じて多くの方にPRができます。

#### リンク集

NPO活動を支援する助成金や中間支援の情報を紹介しています。

### 区民の方へ

#### イベントを探す

スマホ教室、体操など気になるイベントを探して参加することができます。

#### 募集情報を探す

ボランティア情報をチェック! 社会貢献に参加することができます。

#### サービスを探す

託児や家事サービス、育児相談、介護、自立支援など欲しいサービスを提供しているNPOを探することができます。



登録団体数  
**133**団体

令和4年  
12月末日現在

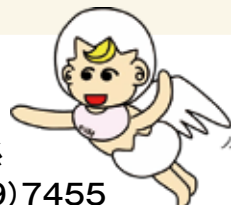


新宿キラミラ

検索

新宿区地域振興部地域コミュニティ課管理係

TEL 03(5273)3872 [直通] FAX 03(3209)7455



お気軽に  
お問合せ  
ください!